

特別対談

尋常性痤瘡治療に 漢方薬を活かす

— 十味敗毒湯の効果的な使用方法を考える —

医療法人社団 鳥居靖真会
とりい皮膚科クリニック
理事長・院長
鳥居 靖史 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院
皮膚科学講座 非常勤講師
木村 有太子 先生

面皰治療外用薬が保険適用となった2008年以降、尋常性痤瘡治療における治療選択肢の幅が広がった。さらに、「尋常性痤瘡・酒皰治療ガイドライン2023」では各薬剤の位置づけがより明確にされ、抗菌薬を長期間使用せざるを得なかったところに比べると尋常性痤瘡の治療は大きく様変わりした。同ガイドラインでは漢方薬も治療選択肢として使用が推奨されており、中でも十味敗毒湯は基礎・臨床試験成績も蓄積され、尋常性痤瘡の治療に幅広く使用されている。そこで、「尋常性痤瘡治療に漢方薬を活かす」をテーマに、十味敗毒湯の尋常性痤瘡治療における位置づけ、効果的な使用方法などについて、医療法人社団 鳥居靖真会 とりい皮膚科クリニックの鳥居靖史先生と、順天堂大学医学部附属順天堂医院 皮膚科学講座の木村有太子先生にご討論いただいた。

I 尋常性痤瘡治療の現状について

面皰治療外用薬の保険適用によって 大きく変わった尋常性痤瘡治療

鳥居 わが国の尋常性痤瘡治療は、アダパレンが保険適用となり面皰を治療できるようになった2008年を境に大きく変わりました。それ以前の尋常性痤瘡治療は抗菌薬の内服および外用が中心でしたが、抗菌薬の治療にはどうしても限界があり、結果的にはニキビ跡を残してしまい、患者さんの精神的な苦痛が残る結果となっていました。

木村 アダパレンが保険適用となる以前の面皰治療というと、ケミカルピーリングを自費治療で行うくらいしか治

療法がなかったので治療に難渋していました。しかし、現在はアダパレンを中心に面皰治療外用薬が保険適用となりましたので、鳥居先生がおっしゃったように尋常性痤瘡の治療は短期間で様変わりしたことを強く実感しています。

鳥居 アダパレンが登場した後、2010年には過酸化ベンゾイル(BPO) 製剤も使用可能となりましたし、現在ではアダパレン/BPO配合製剤、克林ダマイシン(CLDM)/BPO配合製剤を加えた4剤の面皰治療外用薬が保険適用となっています。

木村 面皰治療外用薬の登場によって、尋常性痤瘡の治療ガイドラインも大きく変わりました。現在は「尋常性痤瘡・酒皰治療ガイドライン2023」¹⁾(以下、ガイドライン)が最新版ですが、治療アルゴリズムでは「急性炎症期(原則

尋常性痤瘡治療に漢方薬を活かす

—十味敗毒湯の効果的な使用方法を考える—



木村 有太子 先生

2003年 獨協医科大学 医学部 卒業
2003年 順天堂大学医学部附属順天堂医院 研修医
2006年 順天堂大学浦安病院 皮膚科 専攻生
2007年 順天堂大学浦安病院 皮膚科 助手
2012年 医学博士、順天堂大学浦安病院 皮膚科 助教
2013年 順天堂大学浦安病院 皮膚科 准教授
2016年 ドイツ ミュンスター大学病院皮膚科 留学
2016年 順天堂大学浦安病院皮膚科 准教授
2021年 順天堂大学医学部 皮膚科学講座 講師 (非常勤)

3ヵ月まで)」と「維持期」に分けて重症度に応じた治療薬の使用が推奨されています。急性炎症期では瘢痕予防を念頭に置きつつ面皰治療外用薬による治療を中心に、さらに炎症が強ければ抗菌薬の併用も考慮しながら3ヵ月以内にしっかりと炎症を抑えることが大切です。維持期においては面皰治療外用薬を中心に再燃を抑える治療が推奨されています。

面皰治療外用薬にはそれぞれ特徴がありますが、鳥居先生はこれらの薬剤をどのように使い分けていらっしゃるのでしょうか。

鳥居 尋常性痤瘡の治療は画一的なものではなく、患者さん個々の状態に応じた工夫が必要であり、しかも患者さんに治療を継続していただくことが重要です。私の尋常性痤瘡治療における考え方を図1に示します。面皰治療外用薬の使い分けについては、「DABE式ニキビ治療」を基本にしています。これは面皰治療外用薬を、①デュアック®配合ゲル(D)、②ディフェリン®ゲル(アダパレン：A)、③ベピオ®ゲル(B)、④エピデュオ®ゲル(E)の順番で選択・使用することから、頭文字を順番に並べて名づけました。

ガイドラインにおける漢方薬の位置づけ

木村 先生は尋常性痤瘡治療に、服用可能な患者さんには漢方薬を併用することを基本にしていっぱいしますね。ガイドラインでは本日のテーマでもある十味敗毒湯を含めていくつかの漢方薬が治療薬として推奨されています。

鳥居 ガイドラインでは炎症性皮疹・面皰のいずれにおいても漢方薬が推奨度C1、C2で推奨されています(図2)。荊芥連翹湯がいずれの治療においても推奨度C1とされていますが、荊芥連翹湯は体を冷やす作用を有する黄芩・黄連・山梔子・黄柏と補血作用を有する地黄・芍薬・当帰・川芎が配合されているという特徴があるため、必ずしもすべての患者さんには適応しません。その点で私は、幅広く使用できる十味敗毒湯を積極的に使用しています。

木村先生は尋常性痤瘡治療にはどのような漢方薬を使用されますか。

木村 尋常性痤瘡治療に使用している漢方薬は十味敗毒湯がほとんどです。十味敗毒湯はエストロゲン様作用も有しているので、特に女性に対してはお肌の調子がなんとなく良くなる“美肌の漢方”というような説明をすると受け入れていただきやすい印象があります。

図1 DABE式にきび治療

- 痤瘡治療開始時に痤瘡の病態と面皰治療外用薬の特性について詳しく説明する。
- 刺激症状が出現した際の対処法についても説明しておく。
- 外用薬の塗布の仕方を具体的に説明する。
- 服用可能であれば漢方薬も併用する。
- 当初から保湿剤も併用する。
- 面皰治療外用薬は、①CLDM/BPO配合製剤(D)、②(可能なら)アダパレン(A)追加、③CLDM/BPO配合製剤のBPO製剤(B)への変更、④BPO製剤・アダパレン併用からBPO/アダパレン配合製剤(E)への変更を段階を追って順に紹介する。

重症・最重症の炎症+面皰	①CLDM/BPO ②CLDM/BPO+アダパレン
↓	
中等度の炎症+面皰	①CLDM/BPO ②CLDM/BPO+アダパレン
↓	
軽症の炎症+面皰	①CLDM/BPO ②CLDM/BPO+アダパレン
↓	
軽微な炎症+面皰 (微小)面皰のみ	①BPO ②BPO+アダパレン

鳥居靖史 先生 ご提供

図2 尋常性痤瘡治療に使われる漢方薬
—ガイドラインで推奨されている漢方薬—

- CQ12 炎症性皮疹に対して漢方は有効か？
C1 荊芥連翹湯、清上防風湯、十味敗毒湯
C2 黄連解毒湯、温清飲、温経湯、桂枝茯苓丸
- CQ23 面皰に対して漢方は有効か？
C1 荊芥連翹湯
C2 黄連解毒湯、十味敗毒湯、桂枝茯苓丸

C1：良質な根拠は少ないが、選択肢の一つとして推奨する
C2：十分な根拠がないので、現時点では推奨できない

尋常性痤瘡・酒皰治療ガイドライン2023:
日皮会誌 133, 407-450, 2023 (より作図)

尋常性痤瘡治療における自費治療

木村 面皰治療外用薬が保険適用となって大半の患者さんは保険診療内で治療ができるようになりましたが、どうしても保険診療だけでは改善しない、あるいは再燃を繰り返すという患者さんもいらっしゃいます。そのときにはケミカルピーリングやレーザー治療など自費治療が非常に役立つこともあります。

尋常性痤瘡の発症機序は「毛包漏斗部の角化亢進」「皮脂分泌の亢進」「*C. acnes*の増殖」の3つであることが知られています。毛包漏斗部の角化亢進にはアダパレン・BPOが、*C. acnes*の増殖には抗菌薬・BPOが有効ですが、「皮脂分泌の亢進」については保険診療だけでは治療は困難です。一方で自費治療では、経口イソトレチノイン、アルダクトンA内服（低用量ピル併用）、マイクロボトックス、ビタミンC外用、IPL治療、レーザー治療、ニードル高周波などの治療が行われています。治療は保険診療で開始することは言うまでもありませんが、難治例や面皰治療外用薬が使えないような患者さんの治療選択肢として自費治療も取り入れています。

鳥居 私は保険診療を中心にガイドラインに沿った治療を基本としているので、自費治療はさほど積極的には取り入れていません。むしろ、保険診療の中でも漢方薬がかなり有効なので、ある程度は漢方薬を組み入れることで治療が可能だと思っています。もちろん、それだけでは治療に難渋するケースもあるので、そのような場合には自費治療も取り入れています。



鳥居 靖史 先生

1987年 福井医科大学医学部
(現・福井大学医学部) 卒業
1987年 金沢大学病院 皮膚科学教室 入局
1987年 福井県立病院 皮膚科 研修医
1989年 金沢大学病院 皮膚科 助手
1996年 富山県立中央病院 皮膚科 副医長
(のち医長)
1999年 小松市民病院 皮膚科 医長
2005年 とりい皮膚科クリニック 開業

Ⅱ

尋常性痤瘡治療における 十味敗毒湯について

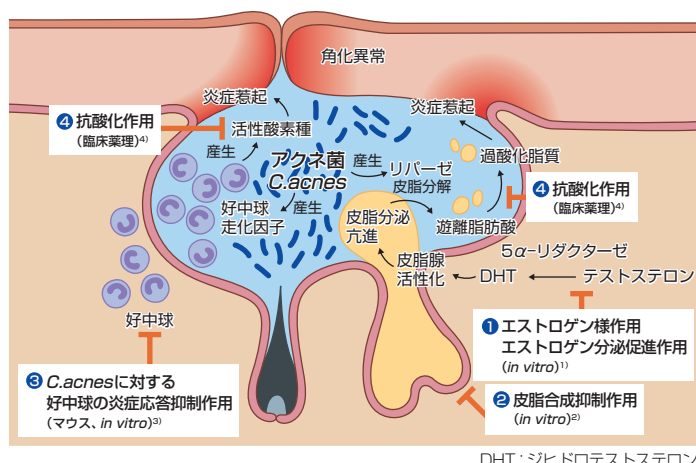
多彩な作用を有する十味敗毒湯

木村 十味敗毒湯は、江戸時代に華岡青洲によって作られた漢方薬です。現在の医療用漢方製剤には桜皮が配合されているクラシエ十味敗毒湯と樺榔が配合されている十味敗毒湯があるのですが、私が漢方に興味を持つようになったきっかけの一つが野本真由美先生(野本真由美スキンケアクリニック)のご講演でお聞きした「桜皮」の魅力です。桜皮には皮膚線維芽細胞のエストロゲン産生増加作用^{2, 3)}、皮脂合成抑制作用⁴⁾や抗菌作用⁵⁾などが報告されています。

さらに十味敗毒湯の薬理作用については、エストロゲン様作用⁶⁾、皮脂合成抑制作用⁴⁾、*C. acnes*に対する好中球の炎症応答抑制作用⁷⁾、抗酸化作用⁸⁾を有していることが報告されており(図3)、尋常性痤瘡に対する効果について検討した報告も多数あります。

先ほど、「皮脂分泌の亢進」に対する治療は保険診療では難しいと申しましたが、

図3 尋常性痤瘡に対する十味敗毒湯の薬理作用



外用薬の刺激症状に対する十味敗毒湯の薬理学的効果

アダパレンによる
紅斑・乾燥・痒痒感を軽減
(マウス)⁵⁾

過酸化ベンゾイル(BPO)
誘発性IL-1α増加・紅斑を抑制
(マウス, in vitro)⁶⁾

1) 道原成和 ほか: 医学と薬学 76: 1449-1456, 2019
2) 篠原健志 ほか: 医学と薬学 73: 579-583, 2016
3) 千葉雅幹 ほか: 医学と薬学 73: 1265-1273, 2016

4) Nomoto M: Altern Integ Med 5: 225, 2016
5) 今村知代 ほか: 医学と薬学 73: 1017-1024, 2016
6) 張 群 ほか: YAKUGAKU ZASSHI 140: 1471-1476, 2020

その点で十味敗毒湯は皮脂合成抑制作用を有していますので、現在の尋常性痤瘡治療薬では治療できない部分も網羅できますし、抗菌作用も有しています。ただし、十味敗毒湯には毛包漏斗部の角化亢進を抑制する作用がないため面皰治療外用薬との併用は必須ですが、むしろ両者を併用することで尋常性痤瘡に対するトータルの治療効果が期待できると思います。

鳥居 まさにおっしゃるとおりです。私も面皰治療外用薬と十味敗毒湯の併用は重要だと考えて使用しています。

十味敗毒湯の服用で皮膚を良好にコントロール

鳥居 私は十味敗毒湯を、“飲めない”とおっしゃる方以外のすべての患者さんに第一選択の漢方薬として使用しています。また、“粉薬は飲めないが錠剤なら飲めます”“1日3回の服用は無理だけど2回なら飲めます”とおっしゃる方にはそれぞれのニーズに合わせた製剤を選択しています。

しかも、十味敗毒湯を服用していただくと炎症が早めに

抑えられることを患者さんは実感できますし、治療からの脱落を減らすこともできるように思います。さらに重要なことは、十味敗毒湯の服用によるトラブルを経験したことがありません。

木村 私もトラブルの経験はありません。むしろ、十味敗毒湯を長く服用されている方から、たとえ服用の必要がなくても“服用を続けたい”と強く希望される方が多いという、良い意味でのトラブルはありますね。

鳥居 私もそのような患者さんを多く経験しています。お肌もきれいになって十味敗毒湯の併用は必要ない患者さんに“飲みますか”とお聞きすると“飲みます！”と言われます。

木村 十味敗毒湯の服用を続けているとお肌の調子が良いようです。尋常性痤瘡は慢性炎症性疾患ですから、たとえ維持期でも月経前やストレスによって症状が悪化するというような方がいらっしゃいますが、十味敗毒湯の服用を続けているときほど悪化せずにコントロールされているという印象があります。

図4 症例 25歳 女性

就職してからニキビが悪化してきた。BPO製剤やナジフロキサシンクリームを処方されていた。



木村有太子 先生 ご提供

Ⅲ 尋常性痤瘡治療に 十味敗毒湯を どのように活用するか

十味敗毒湯の活用例

鳥居 木村先生は実臨床において十味敗毒湯をどのように活用されていますか。

木村 一つには抗菌薬の内服からの切り替え時の使用です。炎症性皮疹が強い時には抗菌内服薬を処方して赤ニキビの炎症を速やかに引かせることを優先に考えますが、炎症が治まっても抗菌薬の内服を中止することに抵抗があり、服用の必要がないのに再燃することを恐れて継続服用を希望される方がいらっしゃいます。そのようなときに、漢方薬による治療の開始を提案することがあります。

症例(図4)は、最初は炎症が強いためドキシサイクリン塩酸塩を使っていたが、炎症が引いてきた際に十味敗毒湯に切り替え、最終的には十味敗毒湯とアダパレン/BPO配合製剤で著明に改善しました。十味敗毒湯を服用されている患者さんは何となく肌ツヤが良くなる印象があります。

十味敗毒湯は、アダパレンやBPO製剤などの面皰治療外用薬による刺激症状の

軽減目的にも活用できます。面皰治療外用薬の問題点は副作用で、とくに乾燥やヒリヒリ感、赤みなどの症状による治療の脱落例が多くあります。ショートコンタクトセラピーや少量からの使用、あるいは保湿剤を併用するなどの工夫が必要ですが、十味敗毒湯の併用が有効なことも多く経験しています。十味敗毒湯はBPO誘発皮膚紅斑を抑制することが報告されています⁹⁾、臨床でも野本真由美先生がBPO製剤との併用で、赤みスコアを有意に改善したことを報告されています¹⁰⁾。私もこのようなデータを拝見してからは治療開始時から十味敗毒湯を使用しています。

症例(図5)は治療開始時から十味敗毒湯を使用しており、現在も良好にコントロールできています。このほかに、十味敗毒湯はケミカルピーリングやレーザー治療など自費治療と併用することもあります。

鳥居先生は中学生くらいの若年の患者さんにも十味敗

毒湯を積極的に処方されますか。

鳥居 私は“漢方薬を飲みます”とおっしゃる方はもちろんですが、“錠剤なら飲みます”“朝晩の1日2回なら飲みます”とおっしゃる若い患者さんにも処方しています。

症例(図6: 次頁参照)は、前医でアダパレンを使ってもすっきりしないため、CLDM/BPO配合製剤(顔面全体に1FTU塗布)に切り替え、さらに十味敗毒湯エキス錠を併用された14歳の患者さんです。4ヵ月後にCLDM/BPO配合製剤(1FTU)の塗布後にアダパレン(1/2FTU)を追加しました。

十味敗毒湯を使用することのメリット

鳥居 尋常性痤瘡の治療は継続していただく必要がありますが、治療開始時から十味敗毒湯を併用することで脱落を減らすことができますし、維持期の治療でも併用してい

ると増悪があまりなく、患者さんも服用を継続されているので定期的に受診していただけるという効果があります。

木村 先生は患者さんにどれくらいの間隔で受診していただきますか。

鳥居 治療開始の2週間後には必ず受診していただきますが、次は1ヵ月後に受診していただきます。アダパレンを追加する場合は2週間後に受診していただきますが、脱落しなければ1回/月にしています。そのような患者さんで肌もすごくきれいでしかも副作用もないということであれば2~3ヵ月とすることもあります。漢方薬をきちんと服用される患者さんは必ず定期的に受診していただけます。

木村 定期的に受診されることは大きなメリットだと思います。

鳥居 当院では漢方薬を初めて服用するという患者さんが多いのですが、思いのほかきちんと服用してくださいますし、薬がなくなったら必ず取りに来られます。

木村 私は、アトピー性皮膚炎と尋常性痤瘡を合併している患者さんに十味敗毒湯を処方すると、尋常性痤瘡だけでなくアトピー性皮膚炎の調子もよいというような印象があり、十味敗毒湯は“すごい薬”だと思うことが多くあります。十味敗毒湯は幅広く皮膚疾患に使用できる漢方薬で、皮膚科医にとっては非常に使いやすい薬だと思います。しかも、鳥居先生

図5 症例 30歳 女性

BPO製剤を4ヵ月間使用。頬部は軽快したが、口周りの皮疹がよくならないと受診。
月経前に毎回悪化する。
診断：普通肌。口周り・下顎には炎症性丘疹とPIEが全体的に散在。



木村有太子 先生 提供

尋常性痤瘡治療に漢方薬を活かす

— 十味敗毒湯の効果的な使用方法を考える —

図6 症例 14歳 女性

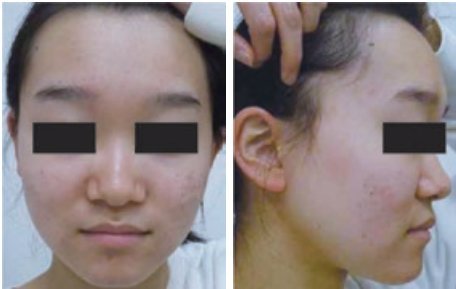
初診時



4週間後



4ヵ月後



8ヵ月後



【現病歴】 3年前より顔、背に紅色丘疹が多発。1年以上前に前医でアダバレンを半年間塗布したがすっきりしない。

【治 療】 CLDM/BPO配合製剤を顔面全体に1FTU塗布で開始。クラシエ十味敗毒湯エキス錠18錠/毎食前。

●4ヵ月後

【経 過】 CLDM/BPO配合製剤は1.5FTUで塗布している。ひりひりなし。紅色丘疹の新生なし。

【治 療】 CLDM/BPO配合製剤を顔面全体に1FTU塗布のあとアダバレン1/2FTUを重ねて塗布するように指示。クラシエ十味敗毒湯エキス錠18錠/毎食前も継続。

鳥居靖史 先生 ご提供

がおっしゃったように、さほど努力をしなくても定期的に受診してくださいませ。

鳥居 私もおっしゃることに同感です。尋常性痤瘡治療に用いる漢方薬はいくつかありますが、どれを選択するかを迷われたら、私は十味敗毒湯をお勧めします。

木村 私は漢方に詳しくはないのですが、実際に使い始めたら“漢方薬ってこんなに効くんだ”と驚くことが多いですし、患者さんご自身も効果を実感されて喜ばれます。使い方も難しくないのも、漢方初心者私でも導入しやすかったというように良い印象ばかりです。漢方薬を使い慣れていない先生もいらっしゃると思いますが、そのような先生でも使いやすい処方だと思えます。

鳥居 先生は男性患者さんにも使っていますよね。

木村 女性ばかりを強調していましたが、もちろん男性にも処方していますし、お肌の調子が良いと喜んで治療を継続されています。

Ⅳ これからの尋常性痤瘡治療における漢方治療の可能性について

木村 本日は、尋常性痤瘡治療における十味敗毒湯の位置づけを鳥居先生からお教えいただきました。

私自身が学生時代から漢方を勉強する機会がないままに、漢方以外の元々のベースの治療をメインに行っていましたが、実際に十味敗毒湯を使ってみて、さらに勉強してみたら、“こんな世界があったのか”という驚きの連続でした。

鳥居 十味敗毒湯の薬理作用や臨床成績の報告をご覧になれば、なぜ十味敗毒湯が尋常性痤瘡治療によいのかも理解できます。そして、実際に使ってみれば十味敗毒湯の良さをさらに実感できると思います。

木村 積極的に漢方に興味を持って診療に取り入れることで、治療の幅が広がることを実感しています。私自身がわずかなきっかけから十味敗毒湯を知り、実臨床で使用するようになって治療の幅が大きく広がったことを、読者の先生にもご経験いただきたいと思いました。

鳥居 漢方というと漢方の理論を知らないと思えないのでは、という印象があると思いますが、尋常性痤瘡はそのような難しいことを考えなくても良い疾患だと思います。しかも、十味敗毒湯は作用機序も明らかにされ、西洋医学的な検討もされていること、さらには副作用などのトラブルがほとんどない、非常に使いやすい薬であると思います。治療の選択肢は多い方が良く、困った時に漢方薬を使うと救ってくれることもあります。特に十味敗毒湯は、尋常性痤瘡治療に用いる漢方薬の中でも第一選択薬として位置づけてよいと思います。

【参考文献】

- 1) 尋常性痤瘡・酒皰治療ガイドライン2023: 日皮会誌 133: 407-450, 2023
- 2) 遠野弘美 ほか: 薬学雑誌 130: 989-997, 2010
- 3) 竹村 司 ほか: 西日本皮膚科 76: 140-146, 2014
- 4) 篠原健志 ほか: 医学と薬学 73: 579-583, 2016
- 5) 遠野弘美ほか: 別冊BIO Clinica3: 124-131, 2014
- 6) 道原成和 ほか: 医学と薬学 76: 1449-1456, 2019
- 7) 千葉雄幹 ほか: 医学と薬学 73: 1265-1273, 2016
- 8) M. Nomoto: Altern Integr Med 5: 4, doi: 10.4172/2327-5162. 1000225, 2016
- 9) 張 群 ほか: YAKUGAKU ZASSHI 140: 1471-1476, 2020
- 10) 野本真由美: phil漢方 57: 18-21, 2015

取材: 株式会社メディカルパブリッシャー 編集部 撮影: 山下裕之

Kracie



twice or three times a day 選べるやさしさ



スティックで、健やかな暮らしへ

クラシエ 薬品株式会社

[資料請求先] 〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

医療用医薬品ウェブサイト 「漢・方・優・美」 <http://www.kampoyubi.jp>

■各製品の「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。